

index

2017〈第12号〉

- 医師連盟委員長新年挨拶
- 平成29年 兵庫県医師会新年祝賀会
- 2016年・年末メッセージ
参議院議員 自見はなこ氏
- 神戸市長・久元きざうと語る会
- 議員対談 衆議院議員 山田賢司氏

兵庫県医師連盟ニュース

発行所 兵庫県医師連盟
〒651-8555 神戸市中央区磯上通6-1-11
Tel 078-231-4114
<http://www.hyogo-ishirenmei.jp>
編集責任者 空地 顕一



医師連盟委員長新年挨拶



兵庫県医師連盟
委員長 空地 顕一

新年明けましておめでとうございます。兵庫県医師連盟の会員の皆さまには、素晴らしい新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年の参議院議員選挙におきましては、自見はなこ議員の当選に多大なご支援、ご尽力をいただきまして、誠にありがとうございました。おかげさまで、自見議員は自民党比例代表第9位、医療関係議員としては最高の得票で当選する事ができました。現在、自見議員は参議院厚生労働委員会に所属し、新人ながら我々医師の代表として大いに活躍されています。また、同じく会内候補である羽生田たかし議員は、参議院厚生労働委員会委員長として活躍されています。今後とも、二人の活動に注目していただくことにも、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

昨年世界では、イギリスのEU離脱、アメリカ大統領選

挙でのトランプ氏勝利など、予測のできない出来事が数多く起こりました。今年は、フランス大統領選挙をはじめとして、ロシア、フランス、ドイツ、イタリアなどヨーロッパの主要国で総選挙が行われますし、アジアでは中国共産党指導部の改選や韓国でも大統領選挙が行われるなど、今後の世界の体制が大きく変わる節目となる可能性をはらんだ年と言えます。

国内では、消費税増税の延期により社会保障充実のための財源が不足する中、超高齢化の進行や経済の低迷、高額な医薬品や医療機器の導入など、医療財政を圧迫する要因が絶えず存在しますが、私たちは医師の責務として、世界に誇る我が国の医療保険制度を守り、発展させ、次世代に引き継いでいかなければなりません。

県内各地域においては、いよいよ地域医療構想調整会議が始まり、各地域の実情に合った地域完結型医療提供体制の整備、医療・介護連携体制の構築や在宅医療の推進が求められています。県民の健康や安心・安全を守るためには、医療関係者や介護関係者だけではなく、各地域の議会や行政、住民とも十分に意見交換しながら、それぞれの地域の特徴を生かした医療提供体制、医療・介護連携体制を構築していく必要があります。今年、兵庫県においては県知事選挙をはじめとして、県内17市町で首長選挙が、また13市町で議会選挙が行われます。また、年内に衆議院議員の解散、総選挙が行われる可能性もあります。今年行われるこれらの選挙は、将来の日本の医療、そして地域医療提供体制や医療・介護連携体制の構築にとって大変重要な選挙です。会員の皆様にはこの点をよくご理解いただき、県民のための医療・介護連携体制を作り上げるために、我が国の医療制度に理解があり、相互に信頼でき、将来の医療を共に作り上げていく事のできる首長や議員の当選にむけて、積極的な活動をお願いいたします。

本年も、兵庫県医師連盟の活動にご理解、ご支援をいただきますようお願い申し上げます。本年が会員の先生方にとりまして良い年になる事を祈念しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成29年 兵庫県医師会新年祝賀会



平成29年の兵庫県医師会新年祝賀会が、1月12日(木曜日)に、神戸ポートピアホテルにて、開催された。

今年からは開催曜日や趣向を変えた開催となった。

来賓として、横倉日本医師会会長、松原日本医師会副会長、西村・川島県医名誉会長、近畿・関西の各医師会長、井戸県知事、久元神戸市長、藤田県議会議長、県歯科医師会会長、県薬剤師会会長、県看護協会会長のご出席をいただき、日本医師会推薦の羽生田参議院議員、自見参議院議員をはじめ兵庫県選出の国会議員や、県議会各派代表議員、県行政関係者、各種関連団体

からも多くの参加者があり、郡市区医師会長を含め総勢200人を超える華やかな会となった。

来賓挨拶の中で、横倉日医会長は、熊本地震における兵庫県医師会の支援に謝意を述べられた後、国際情勢が変化する中、国民の不安を減じるために、国民皆保険制度を核とした医療提供体制を守るべく理解を深めていく必要性について述べた。

祝宴では、テーブルごとに、政界、行政、各団体等と顔の見える交流が行われた。

(文責：医師連盟プロジェクト委員会 山下仁司)



平成29年
兵庫県医師会新年祝賀会

県議会各会派代表議員の方々

空地頭一県医会長

羽生田、自見参議院議員をはじめ本県選出国会議員の方々

横倉義武日医会長

井戸敏三県知事

久元喜造神戸市長

藤田孝夫県議会議長



2016年 年末メッセージ

参議院議員 自見はなこ

先生方皆様に大変お世話になっております
参議院議員の自見はなこでございます。

現在国会は会期延長となりまして、所属する参議院の厚生労働委員会において、年金法の審議が行われており、どうしても国会を離れることができず、本日は年末のご挨拶をボイスメッセージでさせていただく機会を頂戴いたしました。誠にありがとうございます。

今年は7月10日に、皆様の力強いご支援のおかげで、自民党比例区9位で当選させていただきました。医療系7名の候補者の中では1位でありまして、このことが強く後押しして大変競争率の高い、1番人気の厚生労働委員となることができました。早速厚生労働委員会で1回、総務委員会で1回質問をさせていただきました。

日本医師会からの議員が二人揃うのは実に9年ぶりですが、厚生労働委員長になられた羽生田たかし先生と二人三脚で政治の面から日本医師会長の横倉会長をお支えするべく、頑張っております。

現在、年も暮れを迎えつつありますが、自民党では、国から歳出する来年度の予算をどうするかという予算大綱を各部会でまとめ、また同時期に国への歳入となる税制をどうするかということが自民党の税制調査会で約2週間をかけて行われております。この2週間は本当に神経戦の毎日です。

厚生労働部から出された税制要望は23個であり、私の今年の税制の具体的な貢献といえば、500万円以上の医療機器を購入した際の特別償却制度の延長を“三角”から“前向き三角”にしたこと、研究開発税制に関して新薬開発のしやすい税制についてお願いをしたことでした。一方の予算大綱では、来年度の経産省の予算の大綱の中に、セルフメディケーションなどが主体の“ヘルスケアなどの推進”だけだったところに、産業医の視点を入れ込むということで“健康経営”という文言を入れてもらったことです。特定健診の受診率の上昇や職員のメンタルヘルスなどを、“健康経営”の文字とともに中小企業にも広げていくきっかけになればと思います。

そして、現在は、先生方にもご心配をおかけしております医療費の高額療養費制度の負担上限額を引き上げる案などについても横倉会長、厚生労働省、財務省、そして自民党の国会議員を交えながら喧々諤々やっております。

6400億円の社会保障費の自然増に対して5000億までと決められているため、我々は年末までに捻出しないといけない“足りない1400億円”に関して、来年の今頃が議論の山場となるダブル改定に響かないように必死であります。国民に社会保障の枠組みだけで、あふれた部分の負担をお願いするのも限界がきているのではないかと感じているところであります。

日本は、近年特に400-700万円の所得の層がぐっと減っており、それより以上と以下の所得層が増え、社会が残念ながら二層化しつつあります。過去においての“一般”の所得層への負担といていた“一般層”が、今までと違った意味をもって来始めていることを私たちは見逃してはいけません。英国のEU離脱や米国のトランプの登場のような、大きな社会の不満の噴出へと繋がりがかねない事態にならないようしっかりと対策を打ち出していかなければと思っています。

増大する社会保障費を社会保障の枠内だけで考えるには限界がきている今、我々が考えなければいけないことは、政府の本来の機能である所得の再分配機能の強化です。おそらく、これに関しては税制でしか解決できないことが多いと思いますが、私が初めて経験した自民党の税制調査会では、その点に関しての、うねりはまだ見られません。今後は早急にここに関して国民的な議論を開始しなければいけないと感じております。

そして、来年は、いよいよダブル改定に向けた山場を迎えます。

いま申し上げた議論とはわずかに違う次元になりますが、ダブル改定も乗り切る必要があり、準備を年明け早々から開始していこうと思っております。

また、改定とは別の軸になりますが、地域包括ケアシステムの円滑な構築に向けてのより一層の努力や、専門医の仕組みの特に内科領域のあり方、年末に決着が着くであろう介護療養病床について、認知症対策、フレイル予防、ワクチンのこと、など様々な医療の課題について取り組みを同時に深めてまいります。

皆様から送り出されていた組織代表としての立場を全うできるように頑張っております。

ボイスメッセージの失礼をお詫び申し上げ、今年一年の感謝の気持ちを込めて、年末のご挨拶とさせていただきます。先生方におかれましては、診療活動、医師会活動、加えての医師連盟活動にご尽力くださっていることに心から感謝申し上げます。来年も何卒よろしくお願い申し上げます。

2016年12月吉日

自見 はなこ

神戸市長・久元きぞうと語る会

兵庫県医師連盟プロジェクト委員 深山鉄平

平成28年10月13日、「神戸市長・久元きぞうと語る会」が、000人を超える支援者参集のもと、神戸ポートピアホテルに於いて開催されました。神戸市医師連盟からは、置塩隆委員長・岡田泰長副委員長・水谷肇執行委員と私とで参加して参りました。

平成25年11月市長初当選の際の公約372項目をはじめ「輝

ける未来創造都市」の実現のために必要な事業・政策に全力で取り組み、366項目までが着手済・実施済みとなりましたが、未だ道半ばの思いが語られました。神戸医療産業都市については、医療関連進出企業数は323社、雇用者数は約8、100人に及び、神戸大学の「次世代抗体医薬生産等拠点」の整備に取り組んできたこと、今後は

限緩和等を実施したことでした。その他、貧困の連鎖防止や神戸空港開港10年、来年1月の神戸港開港150年に向けた取り組みが熱く語られました。



iPS細胞を活用した世界初の臨床研究である「神戸アイセンタ」の整備支援に注力するなど強調されました。乳幼児等・こども医療費助成等の拡充については、外来での自己負担金の軽減について順次拡充してきた母子家庭等医療費助成の所得制



平成29年11月は神戸市長選挙です。神戸市医師連盟は、バランスとスピードを兼ね備えた久元きぞう市長に、新しいステージに向かう神戸を再び託したいと思います。その思いを一層強くした盛大な会でした。

兵庫県医師連盟
プロジェクト委員

北垣 幸央
Yukihisa Kitagaki

山田 賢司
Kenji Yamada

衆議院議員(第7区)

議員対談

日時：平成28年11月19日(於 やまだ賢司 西宮事務所)

北垣委員(以下 北垣)

本日は国政で非常に多忙の所、また明日には地元、西宮での国政報告会を予定されている中、兵庫県医師連盟のインタビューをお受けいただき有難うございます。山田賢司先生は昭和41年、大阪府でお生まれになり、大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎入学後、昭和60年に留学先の米国インディアナ州ノースビス高校を、昭和61年に天王寺校舎をそれぞれ卒業されました。その後、神戸大学法学部に進まれ、平成2年に住友銀行(現：三井住友銀行)に入行。通商産業省(現：経済産業省)

山田衆議院議員(以下 山田)

平成23年、第46回衆議院選挙に兵庫7区(西宮市、芦屋市)より公選にて出馬し、初当選されておられます。現在、2期目を迎えられ、専門の財務金融委員会理事、法務委員会並びに地方創生特別委員会、憲法審査会のほか、数多くの党の重要な役職を兼務されておられます。山田先生、本日は宜しくお願いたします。



は宜しくお願いいたします。北垣 まず、議員に成られるまでの経歴を伺わせてください。山田 先ほどの北垣先生にご紹介いただいたように平成2年に住友銀行(現：三井住友銀行)に入行し、主に法人営業を担当していました。その間、通商産業省に2年間出向し消費者行政に携わった後、外資系信託銀行にて資産運用を担当する傍ら、芦屋・西宮を中心とした子供向けボランティア活動をするようになりました。もともと政治には縁がなく、民間は民間がやれることをやればよい、一生懸命働いて税金を納めることが世の中

に返すことにつながる、地域のことはボランティアをして社会貢献すればよい、と考えていました。北垣 銀行マンとして活躍をされていた山田先生が何故、政治家を目指そうと思われたのですか？山田 平成22年9月に尖閣諸島沖での巡視船と中国漁船との衝突が契機です。一旦逮捕された船長が釈放され、英雄気取りで帰国した映像を見て憤りを覚えたとともに、外交・防衛については国のかじ取りを間違えるところ取り返しがつかないと危機感を覚えました。(四面につづく)

(三面より)

当時の政治家には任せてもらえないと感じ、自民党のホームページを見たところ、私がボランティア活動をしていたこの兵庫7区(西宮・芦屋)で次期衆議院議員選挙の候補者を公募していました。そこで、他人に文句を言っているくらいなら自分がやるべきと思い、即座に応募致しました。そして平成23年3月に兵庫県第七選挙区(西宮市・芦屋市)支部長となり、皆様方のお力をいただき平成24年12月衆議院議員総選挙にて初当選させていただき、平成26年12月の総選挙にて2期目、再び国政に送り出していただきました。

北垣 「今の政治家に国政を任すことはできない」との熱い思いで当選されましたが、1期目にはどのような政治活動を行われたのでしょうか。

山田 1期目に特に力を入れたのは経済対策と外交・防衛を立て直すことです。政権を奪還するまでの当時は、デフレ不況が続く、倒産、リストラの不安、若い人は卒業しても就職に希望が持てないという状況であり、とにかく景気対策が最優先課題



でした。私も金融機関出身者として党内の様々な会議の場で意見を申し上げ安倍政権の経済運営を後押ししました。外交については、とにかく発信力の強化を主張しました。海外から言われっ放しで反論をしないのは論外で、防戦一方ではなく積極的に我が国の主張を発信し国際社会の理解を得るよう与党として働きかけを行いました。領土に関しては、尖閣諸島海域における中国船の領海侵入の現

状を視察しました。また、毎年2月22日竹島の日には島根県を訪れ竹島返還運動の式典に参加しております。北方領土については、国後島、択捉島にびざなし交流に参加し、現状を視察しました。さらに個別に注力したのは、北朝鮮による拉致問題です。被害者の早期帰国実現に向けて自民党の対策本部で事務局次長を務める他、若手の勉強会を主宰し、政府に働きかけを行うなど致しましたが、未だ被害

者の帰国が実現していないことは大変残念であります。

北垣 熱い国政への思いをもって全力で駆け抜けた1期目だったと思います。再選された2期目を迎えられ、今後の政治活動への思いはいかがでしょうか。

山田 1期目は当選したばかりということもあり、どうしても個人としての思いが先行していたという自覚がありました。今後はもっと有権者、支援者の皆様のお声に耳を傾けるべきとの反省に立ち、ミニ集会や意見交換の機会をできるだけもつように心がけております。当選前より私の政治信条としては、国民の生命、国民の暮らし、日本の心を守るという3本柱を主軸としております。まず、国民の生命を守るということは、外交・防衛や防災はもちろんのこと、医療もまさに国民の生命を守ることに直結しています。国民の暮らしを守ることは、これは何より経済をしっかり立て直すことです。ですが、安心した暮らしという観点で言えば、健康な生活、安心して医療を受けられる環境、福祉・介護も含めた社会保障の

確保が不可欠です。そして、日本を守るということは、教育であり文化を守ることです。伝統文化、芸術も守ることながら、若い立場の人を思いやる心、助け合いの精神も忘れてはなりません。教育に関しては現在、自民党内の教育再生実行本部にて事務局次長を務めております。これからの教育の在り方を議論している中では、学力のみならず、生きる力、人間力を伸ばすことが重要だと認識しております。障害の有無に関係なく、他者を認め合う力、協力して困難を乗り越える力を育ていくことも大切です。

北垣 山田先生を応援している医師連盟として、先生の医療政策への思いを教えてください。

山田 国民の生命を守ること、これは国の最大の責務です。これに直結する医療政策は国政の最重要課題と考えます。一口に医療といっても様々な課題、問題があります。技術や制度、財政の問題ばかりではなく、人生観、倫理哲学に関わる問題、生命にかかわる事柄であるからこそ、大変デリケートな問題、タブー視されているけれどもきち

んと向き合い議論をしていかなければならない問題も少なくありません。そうした中で、あえて一つ申し上げるとすれば、予防医療の重要性です。病気で生命の危機に瀕している人の治療は、誰もが必要性を疑いません。危なくなったときに「何とか助けてほしい」これは誰も切羽詰まっているので重要だと考えます。しかし、むしろ危なくなってしまう前に、若しくは危なくならないように何をしておくべきか、ここが一番重要だと思います。医療に限らず、人は誰でも問題が起こらなくて当たり前、起こった問題を解決してもらったことには感謝しますが、問題が起こらないようにしても良かったことに対する有難みを忘れたことです。健康でいることは当然、自分自身のためでありませんが、健康を維持する努力の重要性を各人がもっと理解し、自発的に健康維持に努めること、また各人の健康維持を促す医療、といったものに対するインセンティブが働く仕組みを探り入れることも考えていくべきなのかもしれません。

北垣 最後にトランプ氏が米国

次期大統領に選出され、オバマ大統領のレガシーからの脱却を謳っています。中でも医師連盟はかねてから国民皆保険の形骸化や薬価問題などでTPPに反対をしております。TPPに関して山田先生のご意見をお聞かせください。

山田 私は基本的には保護貿易ではなく自由貿易を重視する立場です。守り抜くべき国益を整理せず、闇雲に「平成の開国」と言っていた民主党政権下でのTPPには賛同はしていませんでした。しかし自民党政権下ではTPPに関して守り抜くべき国益、6項目遵守が基本方針として決定し、聖域なき関税撤廃を前提にする限りTPP交渉参加に反対すると公約しました。今回TPPには国民皆保険制度を脅かす項目は入っていません。ただし誰もが安心して医療を受けることが出来る国民皆保険制度は絶対に守るべき国益ですので、万が一にも脅かされる事の無いよう守っていきます。

北垣 本日はお忙しい中、本当に有難うございました。山田先生の今後の更なる活躍をご期待申し上げます。